

下水道事業

平成29年度業務の状況を公表

【事業の概要】市民が快適で文化的な生活を営むための基盤である下水道の整備および適正な維持管理に努めました。

主な事業として、施設の長寿命化や地震対策に取り組みました。

【経理の状況】収入は20億7,805万円で前年度に比べ1,377万円の減となり、支出は20億6,574万円で、前年度に比べ1,279万円の減となりました。

平成29年度決算は、1,231万円の純利益となりました。

【借入金の状況】年度末の借入金(地方債)残高は146億7,693万円で、前年度に比べ4億6,272万円の減となりました。

詳しくは市ホームページをご覧ください。



問 経営総務課 ☎(582)1136 ☎(582)5780

水道事業

平成29年度業務の状況を公表

【事業の概要】「安全、安心、安定」供給を第一に、運営に努めました。

主な事業として、管路の耐震化工事や水源地などの設備の更新工事に取り組みました。

【経理の状況】収入は15億887万円で、前年度に比べ4,806万円の減となり、支出は14億4,874万円で、前年度に比べ2,155万円の増となりました。

平成29年度決算は、6,013万円の純利益となりました。

【借入金の状況】年度末の借入金(地方債)残高は37億6,195万円で、前年度に比べ4,268万円の増となりました。

詳しくは市ホームページをご覧ください。



病院事業

平成29年度下半期(平成29年10月1日~平成30年3月31日)業務の状況を公表

【事業の概要】当期の患者利用状況は、入院患者が29,774人で、前年同期に比べ683人の減、外来患者は、41,001人で619人の減となりました。

【経理の状況】当期の収入は、16億317万円(上半期15億2,045万円)で、前年同期に比べ3,538万円の増、支出は17億3,086万円(上半期12億5,517万円)で前年同期と比べ1億2,991万円の減となり、当期の経常損益は、1億2,769万円の損失(上半期2億6,528万円の利益)となりました。

また、平成26年度に行った、減価償却資産耐用年数の適正化による特別利益および済生会への移行に伴う退職手当などによる特別損失を含む当期の純損失は、8億5,693万円となり、上期および下期を通算した平成29年度決算は、5億5,363万円の損失となりました。

【借入金の状況】当期末における借入金(地方債)の残額は、30億8,566万円で、前年度比7億891万円の増となりました。



問 地域医療政策室 ☎(581)0201 ☎(581)1628

●平成29年度病院事業損益計算書

(平成29年4月1日~平成30年3月31日)

単位:万円

区分	上半期	下半期	累計額
1 医業収益	138,199	148,586	286,785
①入院収益	76,938	76,117	153,055
②外来収益	43,838	45,029	88,867
③その他医業収益	17,423	27,440	44,863
2 医業費用	120,727	162,974	283,701
①給与費	75,365	103,268	178,633
②減価償却費	11,255	11,052	22,307
③その他	34,107	48,654	82,761
医業損益	17,472	△ 14,388	3,084
3 医業外収益	13,846	11,731	25,577
①他会計補助金	2,982	2,983	5,965
②他会計負担金	3,313	1,862	5,175
③長期前受金戻入	5,356	5,545	10,901
④その他	2,195	1,341	3,536
4 医業外費用	4,790	10,112	14,902
①支払利息および企業債取扱諸費	2,186	2,264	4,450
②その他	2,604	7,848	10,452
医業外利益	9,056	1,619	10,675
経常損益	26,528	△ 12,769	13,759
5 特別利益	3,802	4,890	8,692
6 特別損失	0	77,814	77,814
当期純損益	30,330	△ 85,693	△ 55,363

◆平成29年度財政事情

もりやまの家計簿

(平成30年3月31日現在)

問 財政課 ☎(582)1114 ☎(582)0539

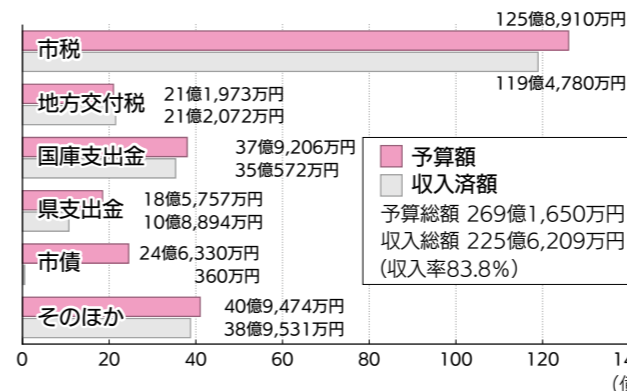
平成29年度の一般会計予算は、年度当初の242億5,000万円に26億6,650万円を増額補正し、総額269億1,650万円となりました。補正予算の主なものとしては、国の補正予算を踏まえ、前倒し実施を行った守山南中学校大規模改造事業や小学校トイレ整備事業の経費のほか、新図書館整備事業、通学路安全対策事業、守山銀座ビル再開業事業に伴う経費などです。

なお、平成29年度の実質収支はおおむね5億8,000万円余の黒字決算となる見込みです。

一般会計収支状況

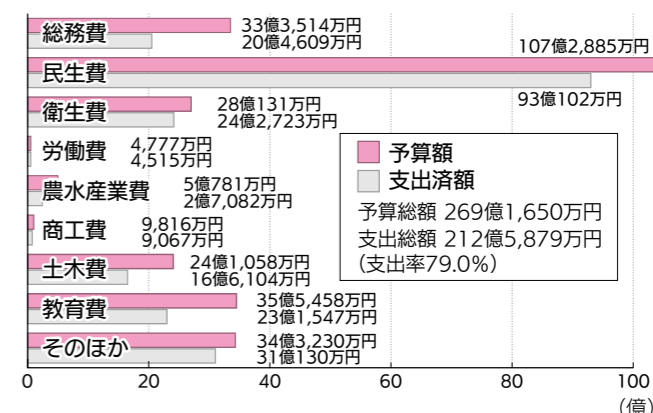
歳入

国、県の補助金や市債の多くが未収入になっていますが、決算時には翌年度に繰り越される分を除きおおむね計画どおり歳入される予定です。



歳出

国の補正予算に伴う前倒し実施事業などが翌年度に繰り越されることとなりますが、これ以外の事業についてはおおむね計画どおり完了し、工期などの関係で工事費などの支払いを残すのみとなっています。



※用語解説は広報もりやま4月1日号6・7頁を参照



4月1日号

財産保有状況

財産保有状況とは、本市が保有する土地や建物などの財産の状況です。

- 土地および建物 ①土地 1,331,222.89㎡ ②建物 213,336.67㎡
- 有価証券 507万円
- 出資による権利 1億5,426万円
- 債権 1億2,830万円
- 基金 121億7,459万円
 - ・財政調整基金 20億745万円
 - ・そのほか基金 101億6,714万円

地方債残高

地方債残高とは、本市の運営に必要な資金の調達のために負担する債務の残高です。

- 一般会計 262億2,506万円
- 特別会計 7億1,015万円

特別会計収支状況

特別会計とは、特定の歳入を特定の支出に充てて経理する会計です。

会計別	予算額	収入済額	支出済額	
国民健康保険特別会計	82億2,116万円	67億8,825万円	70億3,873万円	
土地取得特別会計	1億6,580万円	1億1,387万円	1億2,563万円	
育英奨学事業特別会計	1,000万円	986万円	221万円	
介護保険特別会計	保険事業勘定	49億6,088万円	41億4,120万円	43億3,963万円
	介護サービス事業勘定	3,135万円	2,202万円	2,935万円
後期高齢者医療事業特別会計	7億8,592万円	6億2,376万円	7億2,513万円	
農業集落排水事業特別会計	2億2,600万円	4,236万円	2億1,383万円	
合計	144億111万円	117億4,132万円	124億7,451万円	